京都「被爆二世・三世の会」会報

京都市中京区壬生仙念町３０-２
ラボール京都５階
京都原水爆被災者懇談会気付
ＴＥＬ075-811-3203
ＦＡＸ075-811-3213
ＨＰ http://aogiri2-3.jp

Kyoto Association of 2nd & 3rd Generation *Hibakusha*(Atomic Bomb Survivors)

１２月１７日(土)「２０２２年被爆者をはげますつどい」
に集まった被爆二世・三世の会のメンバー

２０２２年、この一年　２
２０２２年被爆者をはげますつどいに９６人　８
２０２３年新春共同行動のお知らせ　１０
会員から会員へ　みなさんからのお便り紹介　１１
本・ＤＶＤ・映画・番組の紹介と交流　１２
「気候変動対策と原発・再エネ」
SCRAPBOOK／　「ヒロシマの空白　証しを残す」(中國)　１３
編集後記　１７
２０２３年１月の行事カレンダー　１８

2022年、この一年

１．この１年

１月　３日(月)　核保有５ヶ国が「核戦争否定」共同声明発表
　　７日(金)　日米安全保障協議委員会(２プラス２)開催
　　１５日(土)　南太平洋・トンガ沖の海底火山で大規模噴火発生。日本含む各国に津波襲来
　　１９日(水)　福井県が原発３０㌔圏内弱者ヨウ素剤事前配布を決定
　　２１日(金)　キンカン行動５００回目
　　２２日(土)　核兵器禁止条約発効１周年
　　２７日(木)　福島県内在住者６人が、福島第一原発事故による小児甲状腺がん発症で東京電力を提訴
　　２８日(金)　経産省と復興庁が「福島原発事故『処理水』は無害」チラシを中学校に配布
２月　４日(金)　～２月２０日(日) 北京オリンピック
　　１０日(木)　衆院憲法審査会開催、自由討論
　　１４日(月)　福島原発事故汚染水の海洋放出の安全性を検証するＩＡＥＡ調査団来日。調査開始
　　２１日(月)　ドイツの４つの博物館とオーストリアの１つの博物館が、略奪遺骨をハワイの先住民に返還
　　２４日(木)　**ロシア軍、ウクライナに侵攻開始**
　　２５日(金)　ロシア国内５３都市で反戦行動
　　２７日(日)　「ウクライナでの戦争反対」を訴えるキャンドル・ビジル　三条大橋で１８０人参加
　　ロシア・プーチン大統領が核戦力「特別態勢」移行を命令
　　ベラルーシの国民投票で「核兵器配備を容認する」憲法改正案が成立
３月　１日(火)　２０２２年３・１ビキニデー集会
　　２日(水)　国連総会緊急特別会合　ロシアのウクライナ侵攻非難を１４１ヶ国の賛成で決議
　　原発避難３訴訟(福島生業・群馬・千葉)で東電の賠償責任確定　最高裁第２小法廷
　　４日(金)　ロシア軍、ウクライナのザポロジエ原発を攻撃・占拠
　　１０日(木)　韓国大統領選　尹錫悦氏当選
　　１１日(金)　東日本大震災・東電福島第一原発事故から１１年
　　１２日(土)　バイバイ原発３・１２きょうと集会
　　１８日(金)　ノーモア・ヒバクシャ近畿訴訟　大阪高裁第１４民事部で二人の原告に不当敗訴判決
　　２３日(水)　コートジボワールが核兵器禁止条約を批准　６０ヵ国目
　　２４日(木)　国連総会緊急特別会合、ロシアのウクライナへの無差別攻撃非難を１４０ヶ国の賛成で決議

２９日(火)　福知山市議会、「みんなの多様な性を尊重する条例」案を全会一致で採択
４月　１日(金)　広島「黒い雨」被害者の被爆者認定新基準運用開始
７日(木)　国連総会特別会合で人権理事会におけるロシアの理事国資格停止の決議を採択（賛成９３、反対４、棄権５８）
１０日(日)　京都府知事選挙投開票　西脇知事再選
１２日(火)　米・バイデン政権、初の(臨界前)核実験実施(昨年６月と９月)を公表
１３日(水)　新型コロナウイルス感染者　世界で５億人超、死者６１８万人　米ジョンズ・ホプキンス大学
１４日(木)　アメリカ反核のネバダ行進　核実験場ゲート前に到着
１７日(日)　**京都「被爆二世・三世の会」２０２２年度年次総会**
記念講演〈インタビュー動画の上映〉
「中嶌哲演さん：隠れ病む人々と向き合って」

２２日(金)　「日本政府に核兵器禁止条約の批准を求める」署名の共同提出(対外務省)のつどい(第一次)
２３日(土)　ロシアのウクライナ侵攻に抗議！命を守れ、平和を願う街頭演説とデモ
２６日(火)　国連総会、常任理事国が拒否権行使した場合、理由を求める決議案を無投票で採択
５月　９日(月)　フィリピン大統領選　フェルディナンド・マルコス上院議員が当選
１５日(日)　沖縄　本土復帰５０年
１６日(月)　スウェーデン政府がＮＡＴＯ加盟申請を決定、左翼党と緑の党は反対
１７日(火)　コンゴ共和国が核兵器禁止条約を批准　６１ヵ国目
２１日(土)　オーストラリア下院選挙で労働党勝利　９年ぶり政権交代へ
２３日(月)　日米首脳会談　共同声明発表
３１日(火)　北海道電力泊原発１～３号機に運転差し止め命令の判決　札幌地裁
６月　３日(金)　世界９ヶ国の核弾頭推計１万２，７２０発を発表　長崎大学核廃絶研究センター
５日(日)　**公開講座「被爆二世健診…４３年目の真実」(神奈川県の「二世・三世支部」と京都の「二世・三世の会」との共催)**
１１日(土)　ノーモア・ヒバクシャ近畿訴訟支援のつどい
１３日(月)　グアテマラが核兵器禁止条約を批准　６２ヵ国目
１７日(金)　最高裁第２小法廷　原発事故の国の責任を否定する判決　４人中３人の裁判官の多数決判決
２０日(月)　カーボベルテ、グレナダ、東ティモールの３ヶ国が核兵器禁止条約を批准、合わせて６５ヵ国に
２１日(火)　～６月２３日(木)　**核兵器禁止条約第１回締約国会議（ウィーン）**

～６月２６日(日) 国民平和大行進(広島・東京コース)
２２日(水)　アフガニスタンで大規模地震発生　Ｍ５．９　１，０００人以上死亡
２３日(木)　福島「汚染水」海洋放出「断固反対」全漁連通常総会で決議
２９日(水)　マラウイが核兵器禁止条約を批准　６６ヵ国目
７月　２日(土)　ＫＤＤＩ大規模通信障害発生　最大３９１５万回線に影響
５日(火)　ＮＡＴＯ、フィンランドとスウェーデン２ヵ国の加盟を承認する議定書に署名。３２ヶ国体制へ。
８日(金)　安倍元首相、銃撃殺害
１０日(日)　**参議院選挙、投開票**
１３日(水)　東電株主代表訴訟、東京地裁が４人の旧経営人に１３兆円超の賠償命令
スイスの「世界経済フォーラム」(ＷＥＦ)「ジェンダーギャップ報告書」を公表。１４６ヵ国中日本は１１６位
１４日(木)　岸田首相　最大９基の原発稼働方針を表明
１６日(土)　**ニューメキシコ州の“２つの核の被害を記憶する”ための街頭宣伝行動**

２０日(水)　米シカゴ市議会、バイデン政権に対し核兵器禁止条約の支持を求める決議を可決
２１日(木)　「大阪カジノの是非は府民が決める住民投票を求める会」、２１万人を超える署名を提出し、住民投票の制定を直接請求
→　２９日（金）大阪府臨時府議会　否決
２２日(金)　原子力規制委員会　福島第一原発放射能汚染水の海洋放出計画を認可
８月　１日(月)　**ＮＰＴ再検討会議　開幕**
３日(水)　米ペロシ下院議長、台湾訪問。蔡英文総統と会談
中国軍、台湾周辺６ヵ所で「重要軍事演習行動」
４日(木)　～６日(土)　**原水爆禁止２０２２年世界大会**
６日(土)　**ヒロシマの日　核被害者を追悼するキャンドル・ビジル**
９日(水)　**ナガサキの日　核被害者を追悼するキャンドル・ビジル**

２４日(水)　政府　原発新設へエネルギー政策の基本方針転換を表明　ＧＸ（グリーント

ランスフォーメーション）実行会議にて

２６日(金)　**ＮＰＴ再検討会議閉幕　最終文書採択できず**

２８日(日)　**守田敏也さんの「広島・長崎を駆け抜けて」報告会**

９月　３日(土)　南方特別留学生サイド・オマールさん墓前祭

４日(日)　**小山美砂さんの『「黒い雨」訴訟』出版記念会**

６日(火)　防衛相　全自衛隊対象のハラスメント特別防衛監察の実施を指示

７日(水)　円急落、一時１４４円台に

１１日(日)　沖縄知事選挙投開票　玉城デニー氏再選

１４日(水)　米下院外交委員会、台湾への軍事支援を強化する「台湾政策法案」を賛成多数で可決。４年間で総額４５億㌦規模の援助

１８日(日)　岸田内閣支持率発足後最低に　報道各社世論調査

２２日(木)　**核兵器禁止条約新たに７ヶ国署名、２ヶ国(コンゴ、ドミニカ共和国)が批准**
署名国は９１ヵ国に、批准国は６８ヵ国までに

２４日(土)　ロシア全土でウクライナ侵攻に抗議するデモ展開　８００人拘束

２５日(日)　イタリア下院、政府が核兵器禁止条約締約国会議に参加するよう求める決議案採択

２７日(火)　岸田内閣、安倍元首相の「国葬」強行。全国で抗議行動

２９日(木)　**ノーモア・ヒバクシャ近畿訴訟最後の原告２人、最高裁で上告棄却決定**

３０日(金)　ロシア・プーチン大統領、ウクライナ東部４州の併合を宣言

１０月　５日(水)　京都府議会で、原発を「将来にわたり強化」する意見書が賛成多数で強行可決。府民クラブよびかけ、自民・公明含めて提案、維新も採決賛成、共産党が反対

７日(金)　国連のセシリア・ヒメネスダマリー特別報告者(国内避難民の権利担当)、福島原発事故避難者実態調査の調査終了。日本記者クラブで会見報告。「強制避難」と「自主避難」の区別をするな
ノーベル平和賞に、ベラルーシの人権活動家アレシ・ベリャツキー氏、ロシアの人権団体「メモリアル」、ウクライナの人権団体「自民自由センター(ＣＣＬ)」が決定

１１日(火)　政府、土地利用規制法に基づき、「特別注視区域」２９ヵ所、「注視区域」２９ヵ所、合計５８ヵ所の候補地を提示

１２日(水)　国連総会緊急特別会合、ロシアのムウクライナ４州の一方的併合を「違法」「無効」とする非難決議案を１４３ヶ国の賛成で採択

２０日(木)　**京都「被爆二世・三世の会」結成(２０１２年)１０年の日**

２７日(木)　米バイデン政権、「核態勢の見直し」(ＮＰＲ)を発表。米国や同盟国が極限状況に陥った時の核兵器使用を明記、核先制不使用は採用せず

２８日(金)　国連第一委員会、すべての国に核兵器禁条約への参加を訴えた決議案を１２４ヶ国の賛成で採択
２９日(土)　韓国ソウルで雑踏事故、１５４人が死亡
１１月　２日(水)　北朝鮮、短距離弾道ミサイルや地対空ミサイルなど２３発以上を発射
６日(日)　ＣＯＰ２７（エジプト・シャルムエルシェイク）開幕
１１日(金)　ＡＳＥＡＮ（東南アジア諸国連合）首脳会議・共同宣言を採択「東南アジア地域を大国間競争の場にしない」
１４日(月)　～２０日(日)　**増田正昭さんの被爆者と被爆二世の肖像画展**

１５日(火)　世界の人口８０億人を突破、国連機関が発表
２０日(日)　ＣＯＰ２７閉幕、気候変動による損失と被害に対する基金設立で合意
２１日(月)　インドネシア・ジャワ島でＭ６．５の地震発生、死者２６０人超
２７日(日)　ロシアの兵士･予備役の母親たちと女性団体が「ウクライナでの戦争止めよ」「全兵士を帰還させよ」と要求する交換書簡を発表
２８日(月)　経産省、審議会に対し今後の原発政策行動計画原案を提示。「原発点検停止期間を運転期間に含めない（実質延長）」、「次世代型原発の開発・建設」、「プルサーマル推進自治体への交付金創設」など。
中国・北京で「ゼロコロナ」政策に反対する千人近い規模の抗議デモ発生。全国各地に拡大。
２９日(火)　中国の核保有２０３５年には１５００発。米国防総省が報告
１２月　１日(木)　大飯・高浜・美浜原発運転差し止め訴訟（大津地裁）で、平尾道雄米原市長が原告側証人尋問として出廷。「実効性ある避難計画の策定は困難」と証言
４日(日)　老朽原発動かすな！関電包囲全国集会に９００人参加
１０日(土)　(旧統一協会問題)被害者救済法が成立
１４日(水)　北陸新幹線延伸計画、来春着工断念。与党ＰＴ
自民党税制調査会、防衛新税増額財源の大筋合意
１６日(金)　政府、安保３文書閣議決定、「戦争する国づくり」へ安保政策大転換
１７日(土)　２０２２年被爆者をはげますつどい
１８日(日)　**守田敏也さんの「長崎を訪れて―原爆と戦争を新たな視角から観る　その２」報告会**

２．この１年間に新たに入会された方は

- 今年は残念ながら新規加入者はありませんでした。

現在会員は、２世７３人、３世１１人、その他３９人　合計１２３人

３．この１年間に紹介させていただいた被爆の体験

- 浦上博子　さん　　私の村にも「黒い雨」は降った

４．被爆２世・３世の健康実態調査アンケート回答者（２０２２年１２月２０日現在）

- 全体　１０８人　その内「２世」回答者１０１人、「３世」回答者７人
- ２０２２年１１月から集計、まとめの開始

５．『語り継ぐヒロシマ・ナガサキの心』の普及状況

＜下巻＞

・「二世・三世の会」と被爆者懇談会による普及	４５２冊
かもがわ書店ルートでの販売	２３５冊
・合計	６８７冊
・献本、その他	６３冊
・残数	５５０冊

＜上巻＞

- この間８９冊普及、残数なくほぼ完売。

６．２０２３年度に向けて

（１）「被爆二世・三世の健康実態調査アンケート」の集計・解析・報告発表へ

- 放射線の世代を超えた影響と、二世・三世の実態に迫る

（２）核被害の実態追求と被害者救済運動のネットワークをグローバルに追求

- ドキュメンタリー映画『放射線を浴びたＸ年後』第３弾の成功
- 世界の核被害の継続的な学習

（３）核兵器禁止条約の署名・批准を果たす日本政府の実現

- 「日本政府に条約批准を求める」署名運動のとりくみ

（４）ウクライナに平和を取り戻す！　国連憲章と国際諸条約に基づいた国際紛争解決を！

（５）「戦争する国づくり」阻止、憲法９条の生きる日本を！

（６）１００人の会員の思いと絆が生きる「二世・三世の会」に

（７）２０２３年の主なスケジュール

- 核兵器禁止条約発効記念の日　１月２２日（日）
- ２０２３年３・１ビキニデー　２月２８日（火）～３月１日（水）
- ２０２２年度定期総会(案)　検討中
- ２０２３年国民平和大行進　６月２１日(水)～　東京・広島コース　京都入り
- 核兵器禁止条約採択の日　７月７日(金)
- ニューメキシコ州の“２つの核の被害を記憶する”日　７月１６日(日)
- ＮＰＴ再検討会議に向けた第１回準備委員会　７月３１日（月）～８月１１日（金）
- 原水爆禁止２０２３年世界大会　８月７日(月)～９日(水)　長崎市
- 南方特別留学生サイド・オマールさん墓前祭　９月３日（日）
- 京都「被爆二世・三瀬来の会」結成１１周年　１０月２０日（金）
- 核兵器禁止条約第２回締約国会議　１１月２７日（月）～１２月１日（金）ＮＹ

2022年“被爆者をはげますつどい”に96人

▼５８回目を迎えた“被爆者をはげますつどい”が１２月１７日(土)、ラボール京都大ホールで開催されました。被爆者、付き添いのご家族、“つどい”を支えるスタッフの人々含めて９６人のみなさんが参加されました。

▼ニコニコうたごえ合唱団による歓迎のうたごえで開幕。渡邉賢治実行委員長(京都原水協筆頭代表理事)の開会あいさつ、被爆者のみなさんの代表にお見舞金と贈り物が贈呈されました。

今回は出席された被爆者のみなさん全員に、ひとり一人から簡単な自己紹介、近況報告、“つどい”への思いなどを述べていただくようお願いしました。圧巻でした。２４人の被爆者の方が、広島、長崎での体験、幼い頃の日々、乗り越えてきた病気や今日までの苦労を、短い時間ながらも語られました。昨年の広島「黒い雨」訴訟判決で被爆者健康手帳を手にされた人、付き添いのご家族と共に出席された人、最高齢９７歳の参加者、この一年でごきょうだいを亡くされた人、今の政権のやっていることに怒りを抑えられない人等々々々。予定していた時間を大幅に上回るほどの語り合い、交流となりました。長い“被爆者のつどい”の歴史の中でも、被爆者のみなさんがこれほど胸

の内を語り合う機会はなかったのではないでしょうか。

▼その後、最近の被爆者をめぐる状況として、諸富健弁護士から終結を迎えたノーモア・ヒバクシャ近畿訴訟について、平信行（「二世・三世の会」世話人代表）から広島「黒い雨」訴訟の結果と今後について、が報告・説明されました。

若い人たちと被爆者とが触れ合う機会を創ろうという趣旨で、今回大学生協学生委員会のみなさんにお願いし、学生のみなさんの平和のとりくみ「ピース・ナウ・舞鶴」について報告していただきました。

休憩時間には、久しぶりに顔を合わせることになった被爆者のみなさん同士の交流と親睦も深められました。

▼プログラムの最後は、今年制作された増田正昭さんの、被爆者と被爆二世の肖像画の披露と紹介が行われました。今年の作品は６点。被爆者の高東征二さん、浦上博子さん、葛下友基さん、故サイド・オマールさん、被爆二世の平信行さん、米重節男さんです。“つどい”に参加されたみなさんにひとり一人に増田さんから作品が贈呈されました。サイド・オマールさんの肖像画は「オマールさんを語り継ぐ会」のみなさんに手渡され、代表して早川幸生さんからオマールさんのことについて説明され、お礼が述べられました。

▼花垣ルミさん（京都原水爆被災者懇談会世話人代表）からお礼のあいさつが述べられ今年の“被爆者のつどい”の幕を閉じました。やむを得ないこととはいえ、年々少なくなる“被爆者をはげますつどい”の参加者。

それでも「来年も是非参加したい」、「それが一年の目標」と語られる人も少なくなく、その思いに是非応えたいという気持ちを確かにした一日でした。

当日の様子は動画で収録し、“つどい”にご協力いただいたみなさんにはＹＯＵＴＵＢＥで視聴できるようにしています。京都「被爆二世・三世の会」のみなさんもご覧いただけます。是非観て下さい。

■参加された被爆者のみなさんからのお礼のことば（一部）

- 本日はおもてなしありがとうございました。心づくしの品物、その上お見舞金までいただき、とてもよいひとときを過ごさせていただきました。ただただ感謝です。世界平和を心から祈ります。（南区　Ｓ・Ｋさん）
- いつも心暖まるおもてなしありがとうございます。被爆者が年々減少していますが、若い方の参加もあり、頼もしいです。良い新年をお迎え下さい。（伏見区　Ｍ・Ｍさん）
- 参加者が例年よりもあまりにも少なかったが、行事内容等は充実していたと思います。この会がいつまで存続できるかと不安も覚えますが。肖像画を描いていただいたことは私の余生にとって最高の喜びとなりました。感謝いたします。（山科区　Ｋ・Ｔさん）
- 私たちのために何日も大変な労力とお時間をかけていただき、心のこもった品々をご用意いただき、心から感謝しています。楽しいひと時をありがとうございました。（南区　Ｙ・Ｔさん）
- 最近体調が悪く出席するかどうか迷いましたが、主人が付き添ってくれて、おかげで楽しいひと時を過ごすことができました。皆様に感謝しています。（南区　Ｎ・Ｋさん）

ウクライナに平和を！国連憲章と諸条約に基づいた解決を!
核戦争阻止！核兵器禁止条約による世界平和の実現を！
「戦争する国作り」阻止！日本政府の核禁条約参加を!

2023年新春共同行動のお知らせ

2022 年は、ロシアによるウクライナ侵攻と核脅迫により世界の平和秩序が破壊され、人類が核の危機に直面する重大事態に直面しました。アメリカ・バイデン政権はこの機会を最大限利用して軍事ブロックと核抑止力強化をはかろうとしています。しかし、核廃絶を求める世界の諸国政府と市民社会はこうした情勢にたじろぐことなく、一層大きな運動に発展させて事態を乗り越えようとしています。核兵器禁止条署名国は 91 ヶ国、批准国は 68 ヶ国にまで至っています。

岸田自・公政権は、安保「3 文書」の改定強行を軸に露骨な「軍事国家」づくりに邁進しようとしています。憲法に明確に違反し、国民生活を破壊に陥れ、選挙公約も国会審議も経ない、民主主義を踏みにじる最悪の暴挙です。国民的対話と宣伝、署名運動を思い切って拡大強化し、大軍拡を阻止していくことが緊急に求められています。

新春から勢いよく街頭に繰り出し、核も戦争もない日本と世界実現に向けた行動をスタートさせましょう！

新春 6･9 行動

1 月　6 日(金)　14 時　清水寺
1 月　9 日(月)　14 時　清水寺

核兵器禁止条約発効 2 周年行動

1 月 22 日(日)　14時　四条河原町(高島屋前)

会員から会員へ　✿　みなさんからのお便り紹介

他地域の２世・３世の方からいただいたお便りも紹介いたします。

■鹿児島の議会のために母の被爆体験

谷口公洋（城陽市）

先日、鹿児島原水協の池田さんから連絡がありました。議会で議員が「核兵器禁止条約」について、取り上げたいので母親の話を聞きたいとのことでした。「母親は９５歳になり、大分忘れっぽくなりましたが、まだしっかりしています」と答えておきました。鹿児島市会か県会かは不明ですが、間に合って良かったです。多分爆心地の生き残りは、鹿児島県内では母親だけだと思います。

私は、来年の選挙もあり多忙な日々です。当分は例会にも参加できませんが、よろしくお願い致します。みなさん、くれぐれもお体を大切になさってください。

■京都労演　―　帰還不能点

井坂博文（北区）

リアルな演劇ってやっぱりいいですね(^_-)-☆。

遅まきながら、今年になって労演の会員になりました。数年前に前進座の初春公演を観劇して芝居の面白さに目覚めました。議会でも文化環境委員会に所属していることもあり、仕事や活動の忙しさにめげずに「生の文化や芸術」に触れる機会を大事にしようと心がけてきました。

今月の例会も期待にたがわないものでした。題名は「帰還不能点」、もともとは航空用語でポイント・オブ・ノー・リターン（帰還不能となる再遠引き返し点のこと。もはや後へ引けなくなる分岐点の意味）の訳語です。

若手エリートの優秀な頭脳を突き合せた模擬内閣が行った日米開戦のシミュレーションの結論は「日本の敗戦」。ところがその「データ」を無視して「いけいけの空気」で戦争につきすすんだ指導者たち。

歴史に学ばなければ過ちを繰り返すだけではないか？今の世界や日本の指導者たちに求められているテーマではないか！

■現代の「不在地主」

平　信行（南区）

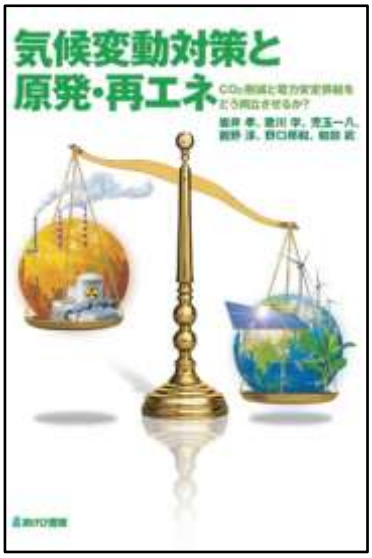
広島県に住んでいた母が３年前他界し、実家の家屋は無住の館になっていました。コロナのために何もできず放置状態だったのですが、この１１月からやっと今後のための処置を始めることにしました。まずは長年に渡って積み重なった家具、家財、(納屋には農機具も) 等を処分することから。１２月６日(火)から３日間かけて、業者さんに依頼し、思い切って搬出、廃棄処分しました。初めて経験する“断捨離”です。私自身１８歳まで住み続けた実家ですから思い出の品々も数多あり・・・。割り切って処分するのは、思い出を切り裂くようなものだな、と痛感しつつの作業でした。

すっかり綺麗になった母屋や納屋、今度はこれをどう取り扱うか。役場の空き家バンクに依頼して、買主または、借主を見つけるか。そういう人がいない場合は家屋の解体も覚悟しなければならないのか。家屋だけではありません。親から相続した田圃、山林、墓所まであり、それぞれの行く末を決めなければならない。私たちの子ども世代に負担をかけないようにと思うと、私たちが元気なうちに処分しなければなりません。同じような経験をしている人は多いのではないか。現代の「不在地主」が負っている悩み、苦労、課題です。

本・DVD・映画・番組・その他の紹介と交流

■気候変動対策と原発・再エネ　　岩井孝・歌川学・他／著

紹介　石角敏明（長岡京市）



あけび書房　2,200 円＋税

現代日本が抱えている問題、「ＣＯ２削減問題」、「ロシアのウクライナ侵攻に伴うエネルギー問題」、そして「異常な円高問題」。本書は、これらの問題をいかに解決すべきか、それぞれの専門家が解決策・展望をのべられている。最近急にクローズアップされてきた「小型原子炉」問題については、研究段階で、既存原発の延命を図るための口実にすぎない、と切り捨て、原発は気候変動問題の解決にはならないと。そして本書は、「核不拡散条約（ＮＰＴ）」と「核兵器禁止条約」の条文を詳しく紹介しながら、原発の停止・廃炉を主張すると共に、核兵器廃絶まで訴え、日本政府に「核禁止条約」に署名・批准せよ、と訴える。環境問題を取り上げる本は沢山あるが、「核兵器禁止条約」まで取り上げ、解説するのは本書だけではないか。そして、日本の経済が停滞しているのは、再エネを放置して、原発に固執してきたためで、再エネ推進を推し進めるよう主張する。また、日本が世界に比べて、再生可能エネルギー活用の取り組みの遅れの原因を指摘している。そして、日本で再エネを推し進めるためには、市民・地域社会が中心になって行うことが重要であるという。再エネ１００％で安全・平和・持続可能な日本が実現する、と明るく楽しい展望が語られている。再エネ活用で、現在の日本の経済停滞が打ち破られ、社会の構造変化を起こす、という楽しい内容の本でした。

Scrap book

■「ヒロシマの空白　証しを残す」　被爆直後の医学者手記　遺族ら出版

あらゆる生物を殺戮し枯死せしめる本爆弾の威力は真に想像に絶する
広島出身・木本誠二さん　占領下で未発表　「幻」の原稿

広島市出身で東京大教授などを務めた医学者の木本誠二さん（１９９５年に８７歳で死去）が広島で被爆してから約２カ月のうちにつづった手記を、遺族と研究者が冊子にして自費出版した。雑誌社の依頼で被爆直後に書かれたが、原爆を投下した米軍が率いた連合国軍総司令部（ＧＨＱ）の占領下、結局出版されなかった幻の原稿。自身の体験と被害の概要を科学者らしい冷静な観察で伝える貴重な一編だ。

木本さんは０７年に広島市で生まれ、広島一中（現中区の国泰寺高）などを経て東京帝大（現東京大）医学部に進学。４４年に同大の外科の助教授に就いたが、４５年６月にけがをした父の見舞いのために帰郷し、その間に自身も体調を崩して広島市内にとどまっていた。８月６日は爆心地から約３キロの牛田町（現東区）の生家で被爆した。

手記の題名は、「原子爆弾空襲の體験（たいけん）」。現存するのは木本さん本人の肉筆原稿ではなく、地震工学者の故金井清さんの助手が４５年１０月１５、１６両日に書き写した原稿用紙１７枚。原本は現在も所在不明だが、書写に先立って書かれたことは確実だ。金井さんは被爆後の広島で被害調査をしており、木本さんとは一中の同級生。４年前、原爆資料館（中区）に寄贈された金井さん関連の資料の中からこの１７枚が見つかった。

手記は「猛烈な明光」の後、板間から土間に降りようとした時、爆風に襲われたと記す。「身體（からだ）は一回轉（てん）して土間に叩（たた）き付けられ、左の耳はガンとして鼓膜が破裂した様に感じ、家屋の破壊音と共に屋根瓦がバラバラと室内に落下して来た」。右足にくぎが刺さり、けがをした。

「衣服も燃え全身焼け爛（ただ）れ乍（なが）ら人の肩に縋（すが）って逃げる者」。近くに避難してきた負傷者の悲惨な姿に加え、放射線による死もつづっている。「一ヶ月も經（た）った後に頭髪が抜け始め、強烈な放射線の後障碍（がい）を受けて僅（わず）か四、五日の中に卒然として鬼籍（きせき）に入る者が又夥（おびただ）しい數（かず）に上って居る」「有らゆる生物を殺戮（さつりく）し枯死せしめる本爆弾の威力は真に想像に絶する」

冊子化は、金井さんの資料を整理してきた地震工学者の工藤一嘉さん（７９）＝東京都＝が今年春に「多くの人が読めるように」と発案。木本さんの長女松田雅子さん（８４）＝埼玉県狭山市＝と孫の木本武士さん（５７）＝東京都＝が賛同した。英文学者のおい山内久明さん（８８）＝同＝が注釈の執筆に協力した。

出版に先立ち工藤さんたちは、松田さんが受け継ぐ木本さんの資料も調査。８１年の医学誌に寄せた回顧録に「自分の原爆体験を戦後間もなくある雑誌に書いたが、ＧＨＱによって差し止められた」との記述を見つけた。ＧＨＱは４５年９月１９日、原爆報道も検閲の対象とするプレスコードを発していた。

手記の文中にも雑誌社の依頼で書いたとあり、４５年１０月刊の「日本医事新報」に掲載予定だった可能性がある。金井さんの資料の中に当時東京帝大医学部教授だった故都築正男さんの同誌掲載の論文「原子爆弾による廣島市の損害に就（つい）て」の筆写原稿もあったことなどが理由だ。ただ、木本さんの手記だけ載らなかった経緯は明らかでない。

木本さんは同大で指導を受けた都築さんたちと被爆者の健康影響調査にも携わった。だが被爆手記の存在は知られてこなかった。松田さんは「冷静に記録した手記ではあるが、父は泣きながら書いたと思う。若い人が平和について考えることに役立ってほしい」と話す。冊子は原爆資料館の情報資料室などで読める。問い合わせは工藤さん　ｋａｚｕ‐ｋｕｄｏ＠ｔｃｎ‐ｃａｔｖ．ｎｅ．ｊｐ

最初期　貴重な資料

原爆手記を研究する宇吹暁・元広島女学院大教授の話

広島で被爆した人が公開を前提に書いた手記で最初期のものといえる貴重な資料。日本人研究による原爆被害調査の成果を知り得る立場だっただけに、早くも被害の概論が記されている点も特徴的だ。　（２０２２年１１月２８日　中國新聞）

編集後記

▼２月２４日、思いもよらない突然のロシア軍のウクライナ侵攻で始まった２０２２年。１２月１６日には岸田政権が「敵基地攻撃能力保有」を公然と掲げた安保３文書を閣議決定。２０２２年はとんでもない一年でした。しかし、国連の場を中心にした国々の結束は逆に強まり、ロシアの侵略行為は圧倒的多数の国々から包囲されてきました。ロシアだけでなく、アメリカを中心にした核抑止力と軍事ブロック強化政策に対しても厳しい批判かけられてきました。それは、核兵器禁止条約批准国の前進、第一回締約国会議の成功、ＮＰＴ再検討会議で核保有国を追い詰めていった議論でも明らかです。▼岸田自公政権の暴走に対して国民はどう見ているか？最低の内閣支持率２５％（１２月１８日・毎日新聞）に如実に示されているのではないでしょうか。暴走を繰り返せば、国民との矛盾は劇的に深まざるを得ず、内閣崩壊の日が近づくだけです。▼情勢は厳しく予断は許しませんが、事態は必ず乗り越えていけるものと確信します。▼ウクライナに平和を！核戦争阻止！岸田政権の大軍拡計画は絶対に許さない！憲法の生かされた平和と暮らしと民主主義を！２０２３年こそ明るい展望を切り開く年にしていきましょう。（平）

２０２３年１月（睦月・むつき）行事カレンダー

月	日	曜	行　　事
１	１	日	元旦
	２	月	振替休日
	３	火	
	４	水	
	５	木	
	６	金	小寒 新春６・９行動（１４時・清水寺）　キンカン行動
	７	土	七草
	８	日	
	９	月	成人の日 新春６・９行動（１４時・清水寺）
	１０	火	
	１１	水	
	１２	木	
	１３	金	キンカン行動
	１４	土	
	１５	日	第４１回全国女子駅伝
	１６	月	
	１７	火	阪神淡路大震災発生の日（１９９５年）
	１８	水	京都「被爆二世・三世の会」例会（１８時３０分・ラボール京都）
	１９	木	安保法制廃止をめざす１９日行動（１８時３０分・市役所前）
	２０	金	大寒　キンカン行動
	２１	土	
	２２	日	核兵器禁止条約発効の日（２０２１年） 日本政府に核禁条約批准を求める街頭宣伝行動（１４時・四条河原町）
	２３	月	
	２４	火	
	２５	水	
	２６	木	
	２７	金	キンカン行動
	２８	土	
	２９	日	
	３０	月	
	３１	火	